

# 台風16号の降雨における

## 阿木川ダムの防災操作について(速報)

独立行政法人水資源機構の管理する阿木川ダム流域では、前線の影響により 9月18日6時頃から降り始め、その後の台風16号の影響による降雨で、時間最大雨量19mm(19日14時から15時まで)を観測するなど、20日20時までに総雨量は195mmを記録しました。

この降雨により、阿木川ダムへの**流入量は最大で毎秒227立方メートル(平成3年4月管理開始以降6番目に大きい流入量)**(20日18時50分)に達しましたが、この流入量に対し**毎秒138立方メートルをダムに貯め込む防災操作を実施**して、下流河川の水位低減をはかりました。

この操作により、ダムがない場合に比べ、ダム下流にある大門地点(岐阜県恵那市長島町、下流基準地点)において、**水位を最大0.31m低下させ、避難判断水位(2.60メートル)を超えて上昇することを回避**できたものと推測されます。

- ※ 防災操作とは、大雨などの際、流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込むことでダムから下流へ流す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。
- ※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

平成28年9月21日



独立行政法人水資源機構阿木川ダム管理所

発表記者クラブ

恵那記者会、中津川記者会

### 【問合せ先】

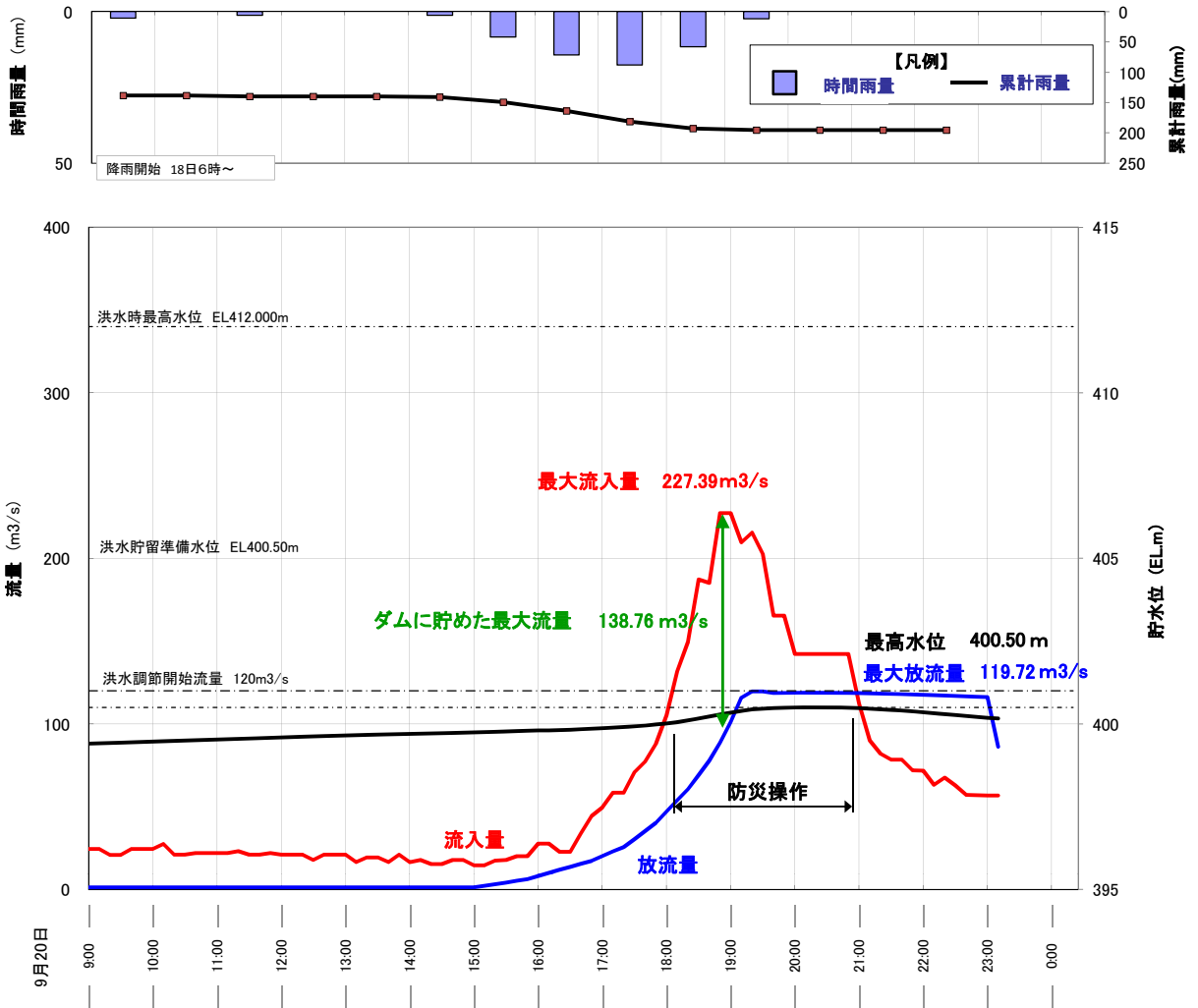
独立行政法人水資源機構 阿木川ダム管理所

所長代理(技術) こばやし  
小林

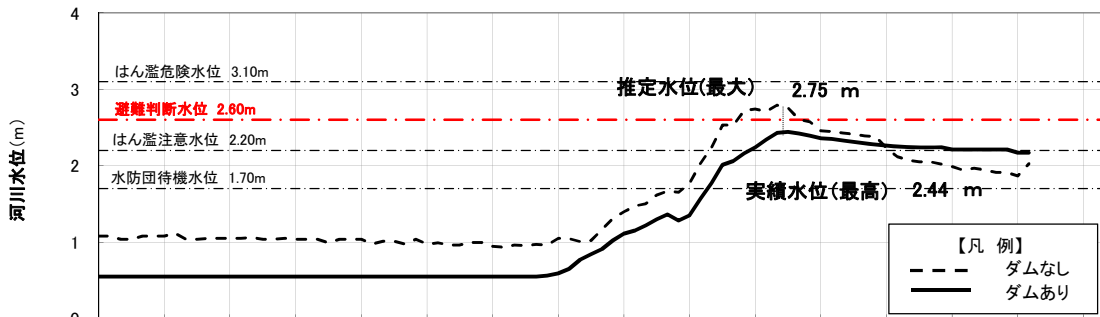
住所 岐阜県恵那市東野字花無山2201-79

電話 0573-25-5295

# 阿木川ダム 防災操作図

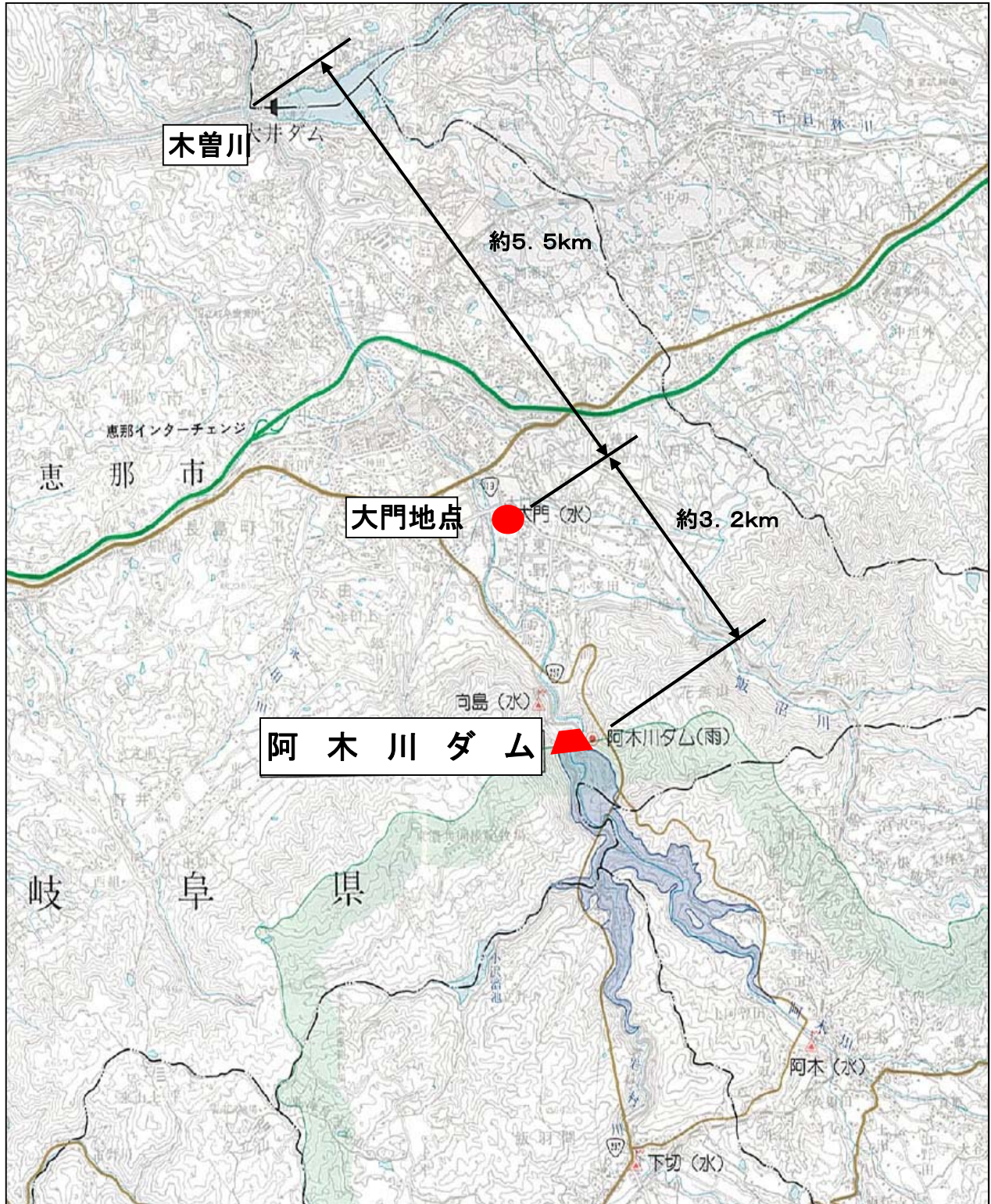


## 下流河川(大門地点) 状況

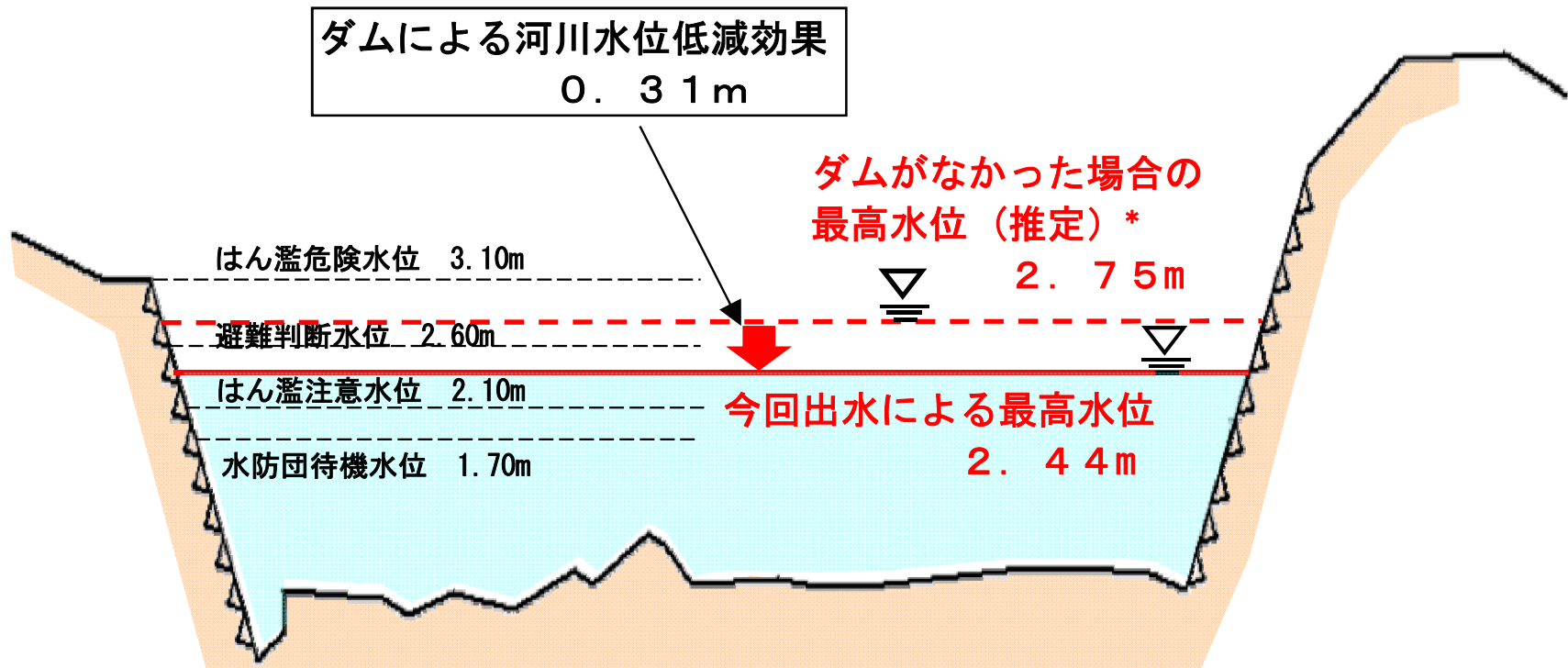


注) ダムなし推定水位は、同時刻の大門地点の河川流量にダムの貯留量を加えたものを水位換算した推定値です。

# ダム下流 大門地点 位置図



● 阿木川ダムによる水位低減効果 (大門地点)



\* 今回の出水による最高水位の河川流量に、同時刻のダムの貯留量を加えたものを水位換算した推定値です。